

JIA 関東甲信越支部長活動報告

2014年

10月、11月、12月



支部長 上浪 寛

支部執行部からのメッセージ

今年は議員立法による改正建築士法の成立、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会施設に関する行政や関連団体とのやり取りなど、他会との連携が実を結んだ年でした。JIA 単独とは明らかに異なる対応を実感し、また単なる運動に終わらないネゴシエーションの大切さを実感した年でもありました。来年は今年の成果を継続してさらに進めること、建築基本法制定の実現に向けた活動を目に見える形で進めていく年だと考えています。

法人移行から2年半が経ち芦原会長の下、試行錯誤して組織制度、活動方針を整理してきましたが、そろそろ来年度以降の運営を安定化させる時期に来ています。JIA 活動をスムーズに効果的に動かすための委員会、全国会議などの制度整備の姿もようやく見えてきました。全国支部と連携し、会員からの理解をさらに深めて JIA の大きな力にしていかなければならないと考えます。

JIA 全体のために関東甲信越支部が担う役割は大きいです。県単位の地域会が果たす役割、支部及び東京の地域会が果たす役割を再確認し、より良い方向性について皆さんと議論していきたいと考えています。

来年が皆様にとって良い年となり、また充実した一年となりますよう祈念致します。

支部長活動報告

10月

- 3日 日事連全国大会の懇親会に出席する。議員立法により国会に上程された建築士法改正が今年6月に衆議院本会議で議決され公布された。多くの国会議員が出席する中で改正建築士法成立祝賀会として催された。
- 7日 基本法特別委員会が開催される。後半は神田順先生が会長を務められる

- 基本法制定準備会との意見交換会。憲法、民法、建築基準法上の財産権、公益の福祉について、建築基準法、都市計画法、景観法、各自治体まちづくり条例についてなど、多角的に議論する。
- 8日 建築士会連合会で国土交通省住宅局建築指導課との意見交換を行う。士法改正に関する内容の詰め及びスケジュールについて、建築士処分についてが議題となる。免許証記載事項に関する国土交通省の見解を聞き、三会の共通認識のメリット、デメリットを整理して提示することになる。
- 10日 東京都財務局との懇談会。9月19日、東京都版DBに関する要望書を東京三会から東京都財務局へ提出したが、10月初めに関連する3プロジェクトの基本設計者選定の公募があった。3会要望書の取扱い等、問い合わせを行う。
- 15日 本部総務委員会が開催される。選挙規程改定の件。当初、会員管理に関する業務はフェロシップ委員会のミッションであったが、フェロシップ委員会は入退会管理と会員増強業務とし、会員管理の制度論については総務委員会が担うことになった。準会員カテゴリーのサービスについて。会員証の発行が遅れており、サービス内容を含めて早急に確定していく。東海支部では2年毎に2名の理事が改選されるが、かねてより1年毎1名の改選にしたいとの要望があった。そのためには一時的に理事定員を3名にして翌年2名に戻すという操作が必要となる。先月の総務委員会ではその方針で議案を作成したが、東海支部から現状のまま2年毎2名改選にしたいとの修正が入る。
- 16日 本部三会会議が士会連合会会議室にて開催される。免許証記載事項に関するメリット・デメリットの整理。建築士処分に関して三会で声を上げる必要がある。法律を変えるのではなく、運用による適正処分を求める。士法改正に伴う四会連合協定契約約款及び契約書の改訂について。午後、正副会長会議が開催され翌週の理事会議案について協議。
- 17日 大磯にて常任幹事会と地域サミットが開催される。常任幹事会で以下のことが議論される。地域会活動費の基本的運用について。JSBが補助してタイ国との間で行われている若手建築家交換プログラムについて、特定個人の負担になっているため、支部国際事業委員会で担うこととする。2015年1月「新春の集い」のテーマを「資格制度」とする。地域サミットでは以下のことが議論される。地域会事業に関するアンケートについて議論。本年4月の役員会で決議された準会員、協力会員の費用について議論。決議は尊重するが運用で考慮する意見が多く出される。支部災害対策委員会が提案している非常時に設置する各地域会災害対策室について意見交換。夜は懇親会に引き続き夜中まで議論を交わした。18日土曜日は神奈川地域会にアレンジしていただいたエクスカージョンで大

磯の町中を一日かけた建築散歩で楽しむ。夕方、横浜の神奈川地域会事務局を借りて常任幹事会を開催する。昨年秋の地域サミットは神奈川県にて予定されていたが台風直撃のため東京で開催した。2年掛りで神奈川地域会に準備していただいたが、素晴らしいサミット並びにエクスカージョンとなった。神奈川地域会の皆様、ありがとうございました。

- 20日 東京三会建築会議が開催される。東京都版デザインビルドについて。基本設計者公募の要綱等は10月24日以降に開示される予定。基本設計者の選定発表は2015年1月下旬の予定。仕様書を入手して更なる要望書を出すか否かを検討する。
- 23日 第222回理事会が開催される。JIA保存再生会議（全国会議）の設立と議長を選出が承認、選挙規程改正案が承認された。会員増強、公益事業活動助成、等。
- 24日 法人協力会との交流イベント、フレンズカップが開催される。今まで6回程参加しているが、毎年好天に恵まれ楽しい思い出になっている。
- 28日 本部三会会議が士会連合会で開催される。カード型一級建築士免許証明書への記載事項、建築士処分に関する要望の最終段階の取り纏めを行う。

11月

- 4日 東京オリパラ関連施設の東京都DB発注について芦原会長、楨文彦氏を交えて話し合いを持つ。会員への周知が不足していることが懸念されるため、JIAマガジン主催のシンポジウムを開催することとする。建築まちづくり委員会が開催される。
- 5日 衆議院議員河野太郎氏と建築設計5団体で新国立競技場に関する意見交換を行う。
- 7、8日 JIA-KIT建築アーカイブス委員会のNPO法人設立に際し、現地を確認するために森副会長と共にKITアーカイブスを、笠所長にご案内いただく。その後、東北支部大会（テーマ「後から来る者のために」）に出席するため福島県の土湯温泉に向かい、夜遅くまで東北支部会員と酒を酌み交わす。翌日は内藤廣氏による基調講演、パネルディスカッションを聴く。
- 13日 本部総務委員会を開催する。準会員・協力会員のサービスを確認するため、本部経費を明快にする必要がある。先月の総務委員会で決議し、理事会で承認した選挙規程について、東海支部から再度修正の要望が出たため東海支部内での十分な意思統一をお願いする。
- 16日 京都にて全国支部長会議が開催される。JIA正会員と登録建築家制度、フェロー会員の推薦について、をテーマとして議論された。
- 19日 今日はJIAで内容の濃い4つの会議が続く。午前中、**基本法特別委員会**が開催される。JIAのたたき台作成は進んでいる。他団体へのアプローチ及び戦略について議論する。昼からは**理事懇談会**が開催される。建築

- 家資格制度、会員増強、役員選挙規程、全国会議などが議論される。夕刻より**支部常任幹事会**が開催される。翌週の役員会議案について、選挙管理委員の選出、2015年度事業計画案、準会員・協力会員のサービスおよび費用について、地域会活動費運用に関する指針について、支部大会について。夜には支部委員長に集まっていただき**委員長会議**を開催する。13委員会、7部会が出席し、6委員会、6部会が欠席した。委員会・部会規約、新委員の公募、支部大会についての提案、委員会・部会の報告と意見交換。
- 22日 22日夜10時過ぎに長野県北部で震度6弱の地震がある。23日未明にかけて中山支部災害対策委員長、筒井専務理事、赤羽長野県選出理事と電話で連絡を取り合う。
- 23日 23日午前9時にJIA本部集合がかかる。芦原会長を本部長とする災害対策本部を立ち上げることを確認する。朝から赤羽理事、川上支部対策委員が白馬村に入り、それらの情報から徐々に様子がわかっていく。偶然中山支部災害対策委員長が連休を利用して家族で葦崎におられたので、休暇を返上して、山口長野地域会代表と共に午後現地に入っていた。現地対策本部を支部に立ち上げることを決める。その後、1か月以上に渡り災害対策活動が続き、長野地域会では様々な苦労や問題も起こったが、1年前から支部災害対策委員会を立ち上げるため中山委員長にご尽力いただいたこと、長野地域会の初動の速さや的確な活動が功を奏して、結果として地元行政から大きな信頼を得ることができている。
- 25日 午前中に本部三会会議が士会連合会で士法改正関連と建築士処分問題をテーマに開催される。中央建築審査会ではようやく、実態として被害が無く大きな違反でなければ、今まで以上に処分を軽減することが議論されているようだ。改正士法で義務化された（罰則のない努力義務）告示15号の順守について、12月、1月に本部3会で分担して中央省庁、各種団体に要望を出し共同記者会見を開催する予定。
- 28日 支部四役会議を開催する。次年度予算並びにフェロー会員推薦について。支部役員会が開催される。部会承認、支部選挙管理委員、保存要望書の審議を行う。保存要望書3件の内、ホテルオークラの1件については否決される。長野県神城断層地震について、現地災害対策本部長代行の山口長野地域会代表と中山支部災害対策委員長が報告を行う。夜には東京三会建築会議で東京都のオリパラ関連施設発注に関して再度要望を出すことを決め、JIA近くの「上海」にて三会同忘年会を約20名で行う。
- 12月
- 3日 多様な発注方式を考えるシンポジウム（JIAマガジン主催）がJIA大ホールで開催される。

- 5日 JIA 災害対策本部開催。支部災害対策委員会が設立されて1年足らずで今回の大地震が起きたが、長野地域会を中心とした JIA の初動の速さで地元行政の信頼を得ることができた。また、他県 JIA 地域会からの人的、また金銭支援の申し出が多数ある。支部災害対策委員会は現地地域会との間の情報整理にも役割を果たしている。
- 8日 本部総務委員会を開催する。本部役員選挙規程改正案、準会員、協力会員本部費用の提案、など、理事会議案を整理する。2013年夏に作成された本部委員会体制の考え方を、1年半を経た現状に合わせた形に総務委員会で整理する予定。
- 15日 正副会長会議開催。全国会議の有り様を議論する。四会による小規模設計約款が改正士法に合わせた形で整備された。約款は有料で契約書は無料配布の予定。2016年 JIA 全国大会の開催地について。JSB による、タイ王国との間で行われている若手建築家交換プログラムの審査会に出席する。
- 17日 第 223 回理事会が開催される。全国支部よりフェロー会員候補者のリストが出され、了承される。承認は年度末の予定。選挙管理委員会委員、役員候補者選挙規程改正案、JIA-KIT アーカイヴス覚書案、小規模設計約款案（設計施工分離型、設計施工一貫型）、全国会議議長、がそれぞれ審議決議される。夕刻より現地災害対策本部が開催される。長野県神城断層地震支援活動報告の現状と今後の見通しについて。二次調査の見通しが不明なため、現地対策本部は当分の間維持する。夜、建築家会館主催の X'mas パーティーが開催される。
- 24日 朝、オリンピック・パラリンピック整備に関する戦略について会議を持つ。建築設計界を超えた枠組みでの検討を重ねている。常任幹事会が開催される。2015年度予算を中心に協議する。その他、アーキテツ・ガーデン、2016年支部大会開催についての検討。





支部長活動報告 2014年10月+11月+12月

2014年12月26日作成 上浪 寛